

## 1 基準超過物質の性状等

### ○ ふっ素及びその化合物

ふっ素は反応性が高く、自然界ではさまざまな元素と結合した化合物として存在している。ふっ素化合物は、金属の表面処理やガラスのつや消し等に使われている。虫歯予防のため、ふっ化ナトリウムが使用されることもある。環境中に排出された場合、主に水中に存在すると予想されており、海域では河川や湖沼に比べて比較的高濃度で存在している。ふっ素を継続的に飲み水によって体内に取り込むと、0.9~1.2 mg/L の濃度で 12~46% の人に軽度の班状歯が発生することが報告されている。水質環境基準は班状歯予防の観点から設定されている。

(参考：事業者が行う土壌汚染リスクコミュニケーションのためのガイドライン 公益財団法人日本環境協会)

## 2 調査地（鎌倉市上町屋 325 番地）



(出典元：国土地理院)